ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和5年9月15日
釧路開発建設部

通学路における可搬型ハンプの試験設置について

～通学路での安全対策の効果を検証します～

抜け道として利用する車両が多く、速度の速い車両が通過する事が交通安全上の課題となっている釧路町内の通学路において、釧路町と釧路開発建設部が連携して現地の確認及び対策実施箇所について検討し、地域との調整が整った釧路町立富原小学校等周辺の通学路区間における速度抑制対策として可搬型ハンプ（※1）の試験設置を行い、効果を検証します。

釧路開発建設部では、自治体へのビッグデータを用いた分析結果の提供や可搬型ハンプ（※1）の貸出しを行い、通学路の交通安全対策を支援しています。

今回試験設置する箇所は、学校が密集（小中高1校ずつ）し多くの生徒の方が通行していますが、抜け道として速度の速い車両が通過している区間という地域の声もあることから、速度低下を目的として選定した箇所です。また、試験設置の効果検証も行うことで、当該区間の更なる対策の必要性を検討し、地域における今後の交通安全対策に寄与することを期待しています。なお、現地には段差注意や速度低下を促す注意喚起看板を前後に設置します。

なお、可搬型ハンプの上を速度が速い車両が走行した場合には走行音や振動が出る可能性があります。近隣にお住まいの皆様には、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

記

設置期間：令和5年9月27日（水）～令和5年10月27日（金）

場所：釧路町雁来（町道名：雁来12号線）

その他：
・試験設置の詳細については別紙をご参照ください。
・設置期間については予定であり、天候等の状況によっては、前後する可能性があります。

※1：可搬型ハンプとは、道路上に設置される凸型の構造物で、通行する自動車の速度抑制などの効果があります。通過車両を押し上げて運転者に不快感を与えることで、減速を促します。

【問合せ先】

- 「通学路・生活道路の交通安全対策」、「可搬型ハンプ」について

国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

電話（ダイヤルイン）：0154-24-7268

道路計画課 課長 たいら 平 きよし 記好（内線：3351）

道路計画課 課長補佐 えんどう 遠藤 とおる 徹（内線：3352）

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>

釧路開発建設部公式 Twitter アカount https://twitter.com/ml_ks



- 「現地試験設置」について

釧路町 道路河川課 電話（0154-65-7931）

■可搬型ハンプ設置場所

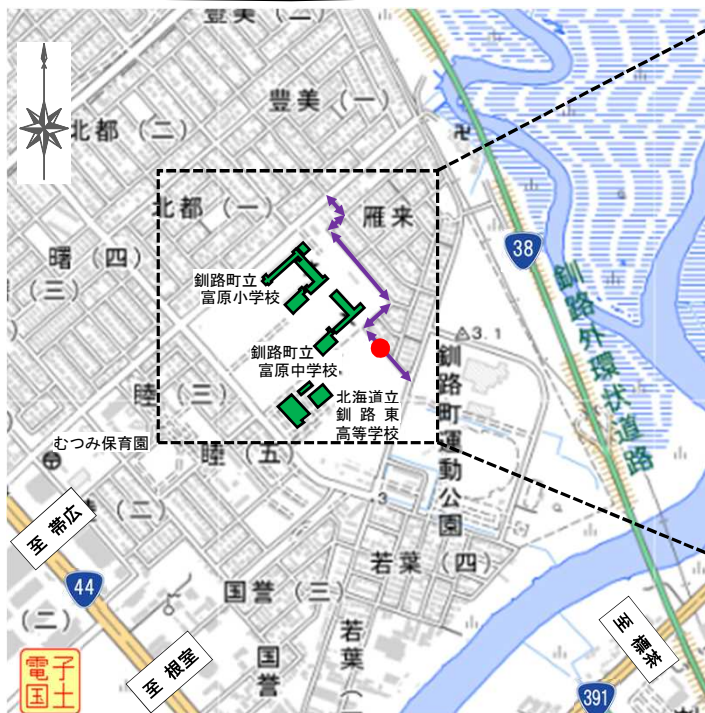
釧路町雁来（町道名：雁来12号線）

■設置期間

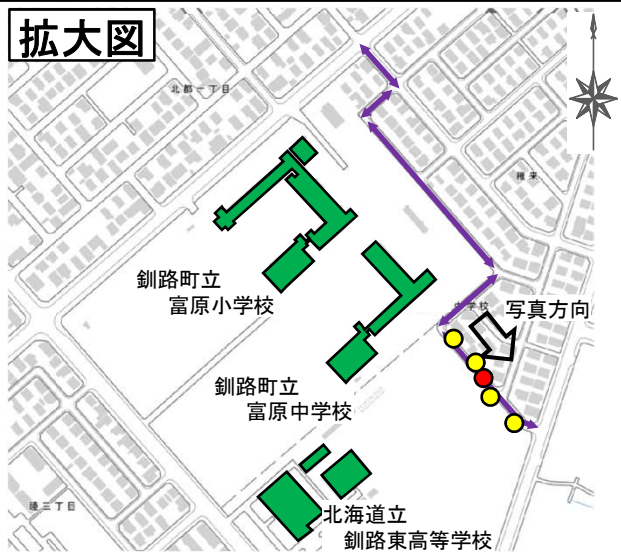
令和5年9月27日（水）～ 令和5年10月27日（金）予定

【課題】

学校が密集し多くの生徒の方が通行しているが、抜け道として利用する車両が多く、速度の速い車両が通過する箇所



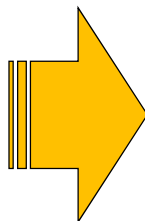
拡大図



凡例

- : ハンプ設置箇所
- : 注意喚起看板（段差注意、速度低下）
- : 小学校・中学校・高等学校
- ↔ : 通過交通

【設置前】



【設置後（イメージ）】



【参考：可搬型ハンプについて】

釧路開発建設部では仮設用として設置・撤去が可能な据え置き型のゴム製の可搬型ハンプの貸し出しを行っています。

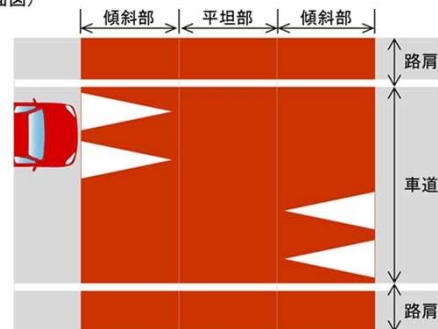


＜ハンプ紹介動画＞

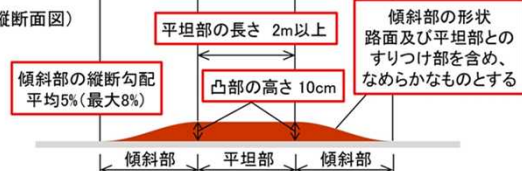


国土技術政策総合研究所

（平面図）



（縦断面図）



国土技術政策総合研究所HPより